

眼施、和顔施

客員相談役 藤井基之



お盆の季節です。最近、大変お世話になった何人かの悲報に接しました。どなたも最大限に人生を生き抜いた方々ばかり、本当にご苦労様でしたとの思いで一杯です。

さて、少々抹茶くさいかもしれませんが「雑宝蔵経」という經典に、「無財の七施」という教えがあるそうです。「七施」の「施」とは、「ほどこし」のこと。簡単に言えば人に何かものをあげること、あるいは「してあげる」ことです。お布施は、お寺さんに差し上げるお礼とか寄付。あるいは芸能人やプロスポーツ選手などがチャリ

ティ・ゴルフなどを開催して福祉団体などに寄付をしたり、また財産家が老人施設に寄付をしたなどという話が時々聞かれますが、これも「施」です。先の雑宝蔵経の教えでいう「無財」とは、お金もないし、家、土地などの財産もない、何も持っていないということ。しかし、「無財の七施」とは、何も持たない身でも「七つの施し」ができるということだそうです。

その「七つの施」とは何かというと、(一)眼施・(二)和顔施・(三)言辞施・(四)身施・(五)心施・(六)床座施・(七)房舎施の七つだそうです。

まず「眼施」とは、いつも優しい眼をもって人を見ることが。「眼は口ほどものをいう」というように眼は人の心を表す。優しい眼は人を和ませるということ。

次に「和顔施」とは、辛い時でも腹立たしいときでも、いつも穏やかで明るい顔つきで人に接すること。穏やかな表情は人をも明るくする。そして「言辞施」とは、激しい言葉を口にせず、穏やかに話すこと。どんなに正しいことを話しても、その口ぶりや話し方一つで人を傷つけしまうことがしばしばある。

ふじい もとゆき
藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ

<http://www.mfujii.gr.jp/>

- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条

私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。

高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。

好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」

- 活動報告
参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

- 経歴
昭和37年 岡山大学教育学部付属中学校卒業
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和44年 厚生省入省
平成9年 厚生省退官
平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 専務理事
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人日本薬剤師会 常務理事
平成13年 参議院議員
平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月～平成17年11月)
平成19年 日本薬剤師連盟 顧問

- その他
昭和大学薬学部 客員教授
共立薬科大学 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師
京都薬科大学 客員教授

「身施」とは、損か得かを計算しすぎず、身をもって行動すること。ボランティア精神ですね。

「心施」とは、人に心を配り、喜びや悲しみをともにすること。

「床座施」とは、電車などで自分が疲れていても喜んで席を譲るというような思いやりの行為です。

七つめの「房舎施」とは、雨露をしのぐ場を人に提供するということ。

このように「無財の七施」とは、お金も財産もなくとも誰にでもできる「ほどこし」ということですが、考えてみれば年末助け合い募金でいくらかの寄付をする方が簡単なような気がします。つくづく凡夫ほんぶの我が身を嘆くかありませんが、せめて七施のうちの一つかでもできるように努めなければならぬでしょう。

携わっている皆様にとっては、調理そのものが「身施」ですね。そして、調理師の皆様の腕と、その腕によって生まれる美味しい料理に、「心施」で味付けし、眼施、和顔施でお客様にお出しすれば、さらに料理は美味しさを増すでしょう。